

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 令和5年度 事業報告書

### 公1 景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

#### 1 各種情報の収集、発信及び啓発

##### (1) 広報活動事業

###### ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報、地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。表紙にはイラストレーターとしてアトリエTAM（タム）主宰、「町家えほん」、「福ねこお豆のなるほど京暮らし」を出版している山口珠瑛氏の京都の文化や歴史を描いたイラストを掲載した。賛助会員、関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・年4回発行（6月、9月、12月、3月） ・各号4,500部
- ・賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等へ配布

号数	発行日	概要
第103号	R5. 6. 20	(特集) コロナ禍を超えて続く地域の防災まちづくり
第104号	R5. 9. 20	(特集) 祇園四条地区・祇園商店街が取り組むまちづくり
第105号	R5. 12. 20	(特集) 世代を超えて学ぶ!楽しむ!秋のイベント報告
第106号	R6. 3. 20	(特集) 防災まちづくり計画の実現に向けた取組(醍泉・栗田)

###### イ 財団ホームページ等

平成28年3月に新設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。財団公式のフェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団ホームページアクセス件数 105,034件 (令和4年度末実績 121,561件)
- ・ひと・まち交流館内・センター(施設)ホームページアクセス件数 158,679件 (令和4年度末実績 230,691件)
- ・メールマガジン配信 19回 (令和4年度末実績 18回)
- ・メールマガジン購読者数 1,999人 (令和4年度末実績 1,995人)
- ・公式フェイスブックページ投稿数 68件 (令和4年度末実績 43件)

## ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

### (7) 冊子等の販売

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」                  | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生                         | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ 京町家物語                          | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy)        |
| ⑤ 京都・岡崎年代史                       | (京都岡崎魅力づくり推進協議会) ほか    |

### (4) 京町家キット等の販売

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| ① 京町家等の組立式キット | (㈱さんけい)                |
| ② 京町家ポストカード   | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

## (2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向けた取組を進める必要がある。

そのため、令和5年度は、引き続き、まちづくりの担い手育成を目指し、京都のまちの成り立ちや、様々な時代背景での人々の営み、その中で育まれたまちづくりの智慧など、まちづくりに取り組むうえでの基礎的な知識等を習得する講座を実施した。

京町家の保全・再生では、京町家の所有者、居住者を主な対象としつつ、居住や利活用を検討している方、京町家でのからしに関心を持つ方等にも参考となる、実践を重視したカリキュラムを中心とし、京町家の継承等に係る基本的な課題解決と京町家の魅力の普及を図った。

## ア 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

令和5年度は対面講座を基本に、オンラインによる受講も併用して実施した。

※全8回 有料 1回1,010円(通年受講は4,400円)

開催日	講座名	講師(敬称略)	出席者
R5.5.26	山並み景観と京都ー近代における風景の発見ー	中嶋 節子(京都大学大学院人間・環境学研究科 教授)	45
R5.6.30	都の川・千年の歴史ー暮らしと水文化ー	鈴木 康久(京都産業大学現代社会学部 教授)	38
R5.8.4	京都を支えてきた道	天野 太郎(同志社女子大学現代社会学部教授)	49
R5.9.8	町家のリノベと「まちづくり」	青柳 憲昌(立命館大学理工学部准教授)	44
R5.11.10	京都・まちなかの20年	吉田 友彦(立命館大学 政策科学部 教授)	32

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R5. 12. 1	楽しむ空間としての銭湯建築	石川 祐一（京都市 文化財保護課 文化財保護技師）	25
R6. 2. 9	京都の食文化	佐藤 洋一郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長）	19
R6. 3. 8	京都の産業とまちづくり	白須 正（元・京都市産業戦略監）	24
合計			276

## イ まちあるき講座

歴史的な町並みや、実際に行われているまちづくりの取組を、そのまちを歩き、見て学ぶことで、まちづくりの対する理解をより深め、鴨川運河周辺のまちづくりの活動を手がかりに、地域の資源をどのようにまちづくりに生かしていけるか考える機会となった。

※全1回 有料 一般1,000円 学生500円（高校生以下無料）

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R5. 10. 28, 29 (連続講座)	「わたしの見方、あなたの見方、みんなの見方 -まちあるきを通してまちの見方を学ぶ」	吉田 泰基 小林 明音 白水 育世 (（一社）マチノミカタ)	一般 10 大学生 11
合計			21

## ウ 地域まちづくりセミナー

令和4年6月にひと・まち交流館 京都（以下「当館」）地下1階に移転した、京安心すまいセンターと合同で、子育て世代の親子を対象に、「すまいとまちフェスタ」を開催し、当財団は、手づくり暮らし研究家の美濃羽まゆみ氏を講師に、暮らしを快適でサステイナブルなものにする工夫が紹介された後、ハギレを活用したはたきづくりのワークショップを開催した。

また、上記催しにおいて、京安心すまいセンターが実施した「おうちバコづくり」では、センター同士の連携を図るため、京のまちかどボランティアガイドにより京都のまちの説明を行うとともに、作成したキットを当館1階・京のまちかどコーナーに展示し、子ども達が住みたい京都のまちを創造した。

※全1回 有料 500円（材料費）

開催日	講座名	講師（敬称略）	出席者
R5. 10. 22	「美濃羽まゆみさんとつくる、ハギレではたきづくり～エコなすまいとエコなお掃除」	美濃羽 まゆみ（手づくり暮らし研究科）	1回目：3 2回目：5
合計			8

## エ 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を中心として京町家に関心のある方を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

京町家を会場として開催した講座を除き、ワークショップルームでの対面での開催を基本とし、オンラインでの開催を併用して実施した。

※全8回 有料 1回500円(座学)、「京町家の四季」現地受講1,000円、「京町家で匂い香づくり」材料費込2,500円

開催日	講座名	講師(敬称略)	出席者
R5.5.25	京町家の「構造」の基本を知る	末川 協(京町家相談員(建築士)、末川協建築設計事務所)	46
R5.6.22	京町家の害虫・害獣の予防と対策	小野 敏明(京町家相談員(大工)、株式会社アラキ工務店)	31
R5.7.14	京町家の保全/継承/再生ー生きた住宅として使われるためにー	河井 敏明(京都精華大学人間環境デザインプログラム教授、一級建築士事務所河井事務所)	28
R5.9.21	表屋造ー京町家の到達点ー	中川 等(NPO法人古材文化の会副会長)	32
R5.10.27	京町家の庭：暮らしに寄り添う庭のお手入れ	佐野 友厚(庭師)	21
R5.11.30	京町家の四季ー京町家を通じて受け継ぐくらしの文化ー	大西 里枝(京扇子大西常商店代表取締役)	16
R6.2.8	「町家構え」とは何かー京町家カルテ委員長が見た京町家ー	大場 修(立命館大学衣笠総合研究機構教授、京町家カルテ委員長)	96
R6.3.3	京町家で匂い香づくり	香老舗 松栄堂	19
		合計	289

## オ 三都連携事業

三都連携事業は、京都市・大阪市・神戸市の住情報センターによる共同事業で、各都市の住情報センターに寄せられる相談等を共有し、今後の事業等に活用することを目的としている。

各都市が回り持ちで幹事を担当し、年1回程度、全体での勉強会等を開催している。令和5年度の当番都市は神戸市であった。

令和5年度は2回の全体会議において災害時の住まいに関する相談業務における三都市の住情報センターの情報共有等を行うほか、「まちの暮らしを面白くする、空き家活用という生き方」をテーマに、近年全国的な課題となっている空き家を、負の課題にとらえるのではなく、まちや地域の財産として発掘・利活用・発信している事例を基に、空き家を活用することで生まれる新しい価値について知ることを目的としたシンポジウムを開催した。

### 【シンポジウム概要】

・日 時：令和5年11月23日(木・祝) 15時～17時

- ・会場：NATURE STUDIO 2F フードホール（神戸市兵庫区雪御所町 2-18）
- ・参加者：現地 59 名、オンライン 47 名 計 106 名
- ※ 当日午前中に、会場周辺の空き家活用事例を巡るまちあるきを実施。

## カ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

### (7) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

#### ・基礎講座（全8回）

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R5. 7. 8	基礎理論(1)景観とは何か？	堀 繁（東京大学 名誉教授）	29
R5. 8. 19	基礎理論(2)景観のマネジメント WS：まちのことを調べてみよう	宗田 好史（関西国際大学 教授）	25
R5. 9. 30	景観と都市形成 FW：景観視点でまちを見てみよう	中嶋 節子（京都大学大学院 教授）	28
R5. 10. 21	まちとまちなみ WS2：まちの景観特性を考えよう	森重 幸子（京都美術工芸大学 教授） 魚谷 繁礼（魚谷繁礼建築研究所／京都工芸繊維大学特任教授）	25
R5. 11. 18	WS3：私が景観エリアマネージャーになったら	—	20
R5. 12. 16	公共空間のデザイン 京の生活文化	山口 敬太（京都大学大学院 准教授） 町田 香（京都芸術大学 非常勤講師） 谷 晃（野村美術館 館長） 笹岡 隆甫（華道「未生流笹岡」家元）	22
R6. 1. 20	自然資源と観光資源の活用	深町 加津枝（京都大学大学院 准教授） 村上 佳代（文化庁 文化財調査官） 阿部 大輔（龍谷大学 教授）	23
R6. 2. 17	景観まちづくり・修了式	高田 光雄（京都美術工芸大学 教授）	24

#### ・実践講座（全8回）

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R5. 6. 24	オリエンテーション GW：地域の基礎資料の収集、課題の想定	—	10
R5. 7. 9	景観を理解する GW：現地調査、課題設定	堀 繁（東京大学 名誉教授）	10

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R5. 8. 5	先輩エリマネの事例 GW:ビジョンとプロセス検討1	徳光 都妃子（山田家活用フォーラム） 笠原 啓史（NPO 法人彦根景観フォーラム）	9
R5. 9. 9	地域のまちづくり事例 GW:ビジョンとプロセス検討2	永田 一郎（祇園新橋景観づくり協議会） 長坂 生人（桂坂景観まちづくり協議会）	10
R5. 10. 14	GW 発表会 WS: 実践における課題と対策	森川 宏剛（京都景観フォーラム）	11
R5. 11. 11	個人レポートゼミ 1	—	10
R5. 12. 9	個人レポートゼミ 2	—	9
R6. 2. 17	個人レポート発表会・修了式	—	9

#### (イ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座」を開催した。

なお、第13期講座は、年度をまたがる開催となっており、令和5年1月（令和4年度）に開講し、令和5年7月（令和5年度）に終了した。

#### ・第13期文化財マネージャー育成講座（建造物）

令和4年度開催

開催日	内容	講師（敬称略）
R5. 1. 14	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論 受講者・スタッフ自己紹介	中川 等（NPO 法人古材文化の会） 高田 光雄（京都美術工芸大学）
R5. 1. 28	民家建築 京都市の文化財行政	中川 等（NPO 法人古材文化の会） 牧山 安弥子・石川 祐一（京都市）
R5. 2. 11	近代和風建築 歴史的建造物の継承と暮らし 京都市登録有形文化財・秦家住宅 重要文化財・杉本家住宅の見学	日向 進（NPO 法人古材文化の会） 秦 めぐみ（秦家住宅）
R5. 2. 25	寺社建築 歴史的建造物の技法／瓦葺 歴史的建造物の技法／左官 修了課題、演習1の説明	菅澤 茂（工学院大学） 寺本 光男（瓦葺職） 浅原 一郎（左官職）
R5. 3. 11	文化財保護法 演習1 指定文化財の修理現場見学 大徳寺	岡本 公秀（文化庁） 竹下 弘展（京都府）

R5. 3. 25	循環型社会と保存・活用	浅岡 美恵（弁護士）
	保存・活用のマネジメント	宗田 好史（京都府立大学）
	歴史的建造物の再生理念	藤岡 龍介（建築家）
	観光活用とその課題	土橋 聡憲（京都市）

令和5年度開催

R5. 4. 8	庭園の様式	仲隆 裕（京都造形芸術大学）
	近代洋風建築	石田 潤一郎（武庫川女子大学）
	歴史的建造物の調査と評価	中川 等（大阪産業大学）
R5. 4. 22	演習2 歴史的建造物調査	建築家と京都市文化財マネージャー
R5. 5. 6	歴史的建造物の耐震補強	井上 年和（京都美術工芸大学）
	保存活用と再生設計/構造設計	井手 晃二（構造設計家）
	保存活用と再生設計/意匠設計	内田 康博（建築家）
	演習2の中間報告 修了課題の中間報告	
R5. 5. 20	歴史的環境の整備	山崎 正史（立命館大学）
	保存・活用とまちづくり /山田家住宅と醍醐	徳光 都妃子（建築家・文マネ）
	保存・活用とまちづくり /旧三上家住宅と宮津	岩田 信一（建築家・文マネ）
	演習2の講評、演習3の説明、 修了課題の中間報告	
R5. 6. 3	演習3 保存・活用相談 建築家と京都市文化財マネージャー	
R5. 6. 17	建築基準法適用除外制度・景観法	（京都市）
	指物の技法	大谷 普賢（伝統工芸士）
	演習3の講評 修了課題の中間報告	
R5. 7. 1	歴史的建造物と防災対策	益田 兼房（日本イコモス国内委員会）
	歴史的建造物の継承と税金	辻本 尚子（税理士）
	修了課題中間発表会	
R5. 7. 22	修了課題発表会 講座修了式・修了証書授与	

・文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座

開催日	名称	講師（敬称略）
R6. 2. 20	歴史ある建造物の防災を学ぶ講座 ※京都を彩る建物や庭園所有者交流事業との合同開催	室崎 益輝（神戸大学名誉教授） 長谷川 順一（たてもの修復支援ネットワーク）

## 2 市民等の活動に対する総合的支援

### (1) 地域活動支援

地域の魅力向上や課題解決に向けて、景観づくりやまちのルールづくり、防災まちづくりに取り組む地域を支援し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進めた。

#### ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

相談・支援件数 341件（令和4年度 332件）

相談・支援内容	令和5年度 件数	令和4年度 件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	110	95
マンション問題	2	12
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	7	2
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	78	78
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	29	43
防災まちづくり	149	137
まちづくりコーディネート事業	259	182
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	28	24
合計	662	573

※ 相談・支援1件につき、複数の相談・支援内容を含む場合がある。

#### イ まちづくり専門家派遣

課題に応じて、まちづくりの専門家を地域に派遣し、地域活動を支援した。

※京都市からの委託事業における専門家派遣は別途記載

地区等	支援内容
下京区 醒泉学区	令和4年度に「防災まちづくり計画」を策定したことから、令和5年度は、学校統合後、手つかずとなっていた避難所運営マニュアルの改訂・更新に取り組み、検討及び作成について支援を行った。
中京区 本能学区	令和3年度に完成した「防災まちづくり計画」に基づき、本能学区総合防災訓練における防災セミナーの運営・進行の支援を行い、取組周知と防災意識の醸成を図った。

地区等	支援内容
伏見区 醍醐柿原住宅地区	当該地区は、建築協定とともに集会所等の財産を管理するための管理規約も定めているが、その管理規約の規定が、当初、開発者から譲り受けた当時のまま、40年以上が経過している。所有者の移転等により、現在の状況が条文と合致しない規約条文を整理し、改定するにあたって、法律上の確認及び助言が必要であるため、まちセン独自に専門家による相談を実施した。
右京区 嵯峨鳥居本町地区	地域の良質な景観を保全するため、地域景観づくり協議会制度を活用することとなった当該地域に対して、令和6年度からの専門家派遣を予定している。円滑な協議会運営及び地域住民と共に将来像の実現を目指すため、協議会役員へのヒアリング（意見交換）を通して、役員各位の取組意向や地域に対する資源や課題など考えを共有し、今後の取組や進め方を検討した。 ※ オ 地域主体のまちづくり支援業務（京都市受託事業）において派遣した専門家と専門性を補い合うことを目的として専門分野の異なる専門家を派遣したもの。

## ウ まちづくり活動助成

まちづくり活動の立ち上げや継続的に取り組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催、地域景観づくり計画書の印刷）を助成する制度である。

今年度は、市街化調整区域での地区計画策定を目指す鞍馬二ノ瀬地区に対して助成を行った。

地区等	支援内容
左京区 鞍馬二ノ瀬地区	地区計画の周知に係る配布物の印刷、勉強会の資料作成や会場費等に対して助成を行った。

## エ 専門家育成講座

令和5年度は、京都市が発行した夜間景観の指針（ガイドブック）を周知し、手法等を共有するため、夜間景観づくりの講座を企画した。

令和6年度は、専門家講座を実施し、専門家のスキルアップを図る。

## オ 地域主体のまちづくり支援業務（京都市受託事業）

地域の多様な魅力と個性を生かし、新たな価値の創出に取り組んでいる地域や、地区計画や建築協定、地域景観づくり協議会などの制度を活用し、これからまちづくりを推進しようとする地域に対して、地域活動の充実を図るとともに、様々な都市計画制度の普及啓発と活用推進に向け、専門家派遣等の支援を行った。

令和5年度は、景観政策課が窓口となり、地域主体のまちづくり支援業務として契約を受託し、その枠組みの中で、景観政策課、建築指導課、まち再生・創造推進室、都市計画課に係るまちづくり支援を実施した。

### (7) 景観づくり支援（景観政策課）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、各地域景観づくり

協議会が実施する意見交換会等の活動、地域が行う夜間景観の検討の取組、地域のビジョンやルールづくりに対し専門家の派遣を行い、今後の進め方などについて助言を行うとともに、情報収集や専門家への情報提供等の支援を行った。

① 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

地域が行う夜間景観の検討の取組や屋外広告物のルールづくり、また、設立間もない地域景観づくり協議会に対して、今後のまちづくり活動の方針や取組を検討する活動に専門家の派遣を行った。

地区等	支援内容
中京区 先斗町 まちづくり協議会	継続して取り組んでいる鴨川ライトアッププロジェクトを推進し、取組を円滑に進めるために、専門家と検討会議に出席し、夜間景観づくりに向けて調整や情報発信を行った。
右京区 鳥居本町 景観まちづくり協議会	令和6年度からの専門家派遣を円滑に進めるため、協議会役員へのヒアリング（意見交換）を通して、役員各位の取組意向や地域に対する資源や課題など考えを共有し、今後の取組や進め方を検討した。
東山区 祇園新橋 景観づくり協議会	令和6年度から、祇園新橋らしい屋外広告物へと誘導していくためにデザインの体系化に着手し、ルールへの反映やガイドラインの作成等を検討していくため、取り組む内容や進め方について、役員会で意見交換を実施した。

② 地域主体のまちづくりのリサーチ及び課題解決に向けた検討業務

多くの地域でまちづくりの担い手不足が課題となっているなか、様々な形で地域に関わる人たちが、今後、主体的にまちづくりに参画することへの支援を目的として、新たなまちづくりの担い手と地域の自治組織間双方の関係構築のプロセスや、まちづくりの参画につながることを推進するための手法等の調査・分析、企画の検討を行った。

3年目となる令和5年度は、どのような層にどのようにアプローチすれば担い手を掘り起こし、つながることができるか、また、つながった担い手候補を地域につなげていくための仲介機能の充実方法について調査・検討を行った。取組として、既存の講座や交流企画について、その特徴や相互関係を整理するとともに、それら講座の受講経験者へのヒアリングを行い、仲介機能に期待されるサポートや役割等の結果をもとに、次年度以降の取組に向けて検討を行った。

対象者（属性）	ヒアリング（講座への期待など等）
学生（A）、景観エリアマネジメント 講座受講生 専門は社会学・地域コミュニティ	・講座をもっと広く広報すべき。関心を持っているかたにアプローチするには、SNSが有効。地域のまちづくりの取組などでの発信なども有効と思う。
学生（B）エリマネ※ 専門は建築史	・多様な分野のことが学べるのが良い点。受講してほしい対象者も講座内容も建築分野に偏る必要はない。
京都市出身の住民 エリマネ※・景観ゼミナール受講生	生活空間の伝統的な考え方や知恵、また京都の景観の構造と意味合い、大中小の景観などがもたらす価値などを学べるようになれば良い。

対象者（属性）	ヒアリング（講座への期待など等）
学生（C）、エリマネ※ 専門は土木工学・景観まちづくり	行政職員等と関われるような機会になった。 オープンファクトリーはよかった。
移住者（京町家を購入し居住） 公務員・景観ゼミナール受講生	景観ゼミナールは発展的に継続してほしい。
移住者（仕事関係による） エリマネ※	景観まちづくりの制度の知識が欲しかった。

※「京都景観エリアマネージャー」…京都景観エリアマネジメント講座の基礎講座と実践講座を修了し、趣旨を賛同した者が登録できる。“市民が主体的に地域の景観まちづくりに取り組む社会の実現”のために、さまざまなサポートを行う専門家として、「景観エリマネネット」を組織し、ネットワークを活かした活動を行っている。

### ③「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議の企画・運営を支援し、各地域間の情報及び課題の共有を行った。

京都市地域景観まちづくりネットワーク構成団体（計 16 地区）	
（上京区）	笹屋町一丁目景観まちづくり協議会
（中京区）	先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会、京の三条まちづくり協議会
（下京区）	修徳景観づくり協議会、膏薬辻子まちづくり協議会
（東山区）	西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会、祇園新橋景観づくり協議会、祇園町南側地区協議会、祇園商店街振興組合景観委員会
（右京区）	仁和寺門前まちづくり協議会、嵐山まちづくり協議会、鳥居本町景観まちづくり協議会
（西京区）	桂坂景観まちづくり協議会

### (イ) 建築協定等を活用したまちづくり専門家派遣（建築指導課・まち再生・創造推進室・都市計画課）

建築協定の締結又は地区計画の策定等を目指してまちづくり活動を行う地区を対象に、専門家を派遣し、地域住民の主体的な取組に対して支援を行うとともに、建築協定地区 6 4 地区が加入する京都市建築協定連絡協議会の活動支援を行った。

#### ① 専門家派遣

新たに建築協定制度又は地区計画制度等の活用を検討する地域等へ、専門家の派遣を行った。

地区等	支援内容
左京区 大原戸寺地区	京都市都市計画課、専門家とともに、地区計画の変更を目指して、地区施設の検討や土地利用の方針の検討等について支援を行った。
左京区 大原野村町	専門家を通して、地区の住民から市街化調整区域における地区計画策定に向けた相談があり、地域の状況を確認し、可能性を検討するため、専門相談を実施した。

## ② 建築協定連絡協議会への活動支援

総会、役員会、研修会などの活動支援や、協議会の活動を対象とした補助金の交付を行った。また協定更新時における実質的な支援を行うため、活動費の助成を更新のための準備活動にも使えるよう、更新時補助金制度の見直しの検討を行った。その他、物理的に近い地域や同じ課題を抱える地域などさまざまな接点を持つ「小規模ネットワーク」の構築を目的として、伏見区において「小規模交流事業」を実施するとともに、各地区運営委員会における建築計画の審査事務の円滑化及び省力化を図るため、審査時に用いるチェックリストづくりを実施した。

## (ウ) 路地再生支援（建築指導課）

京都市の連坦建築物設計制度及び接道許可制度の拡充を受け、既存制度では建替え等が困難だった敷地の建物更新を図る路地再生事業の支援を行った。

### ①地域への専門家派遣等の支援

京都市とともに路地再生事業の候補地を検討するとともに、対象となった2学区に対し、専門家の派遣等により、地域住民の主体的な取組に向けた支援を行った。

地区等	支援内容
上京区 正親学区	正親学区防災まちづくり委員会が実施する個別相談会に専門家の派遣を行った。 所有している路地奥の土地の売却を希望されている相談と、路地に面する敷地にお住まいで今後の改修等に向けた相談があった。
上京区 出水学区	出水学区自主防災会が実施する個別相談会に専門家を派遣し、6名5組の方が参加された。 建替えずに住み続ける方法の相談や、除却し、改修又は建替えの検討について相談があった。

## カ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

密集市街地内において防災まちづくりに取り組む地域に専門家を派遣し、防災まちづくり計画の策定や計画実現のための各種活動に対する支援を行った。

地区等	状況	支援内容
上京区 室町学区	防災まちづくり 計画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 自主防災部長を対象とした防災まちあるきや総合防災訓練で地域の情報収集を行うとともに、総合防災訓練での勉強会やふれあい広場等の学区行事と連携し、防災に対する機運の醸成を図った。また、取組を防災まちづくりニュースで全戸配布し、取組の周知を行った。 (防災まちづくりの取組1年目)
上京区 乾隆学区	5年度 防災まち づくり 計画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきやアンケート、ワークショップなどの取組を通して、地域の防災に対する機運の醸成や課題の共有を行うとともに、防災まちづくりの方針や実施する対策の検討などを行い、計画を策定した。 (防災まちづくりの取組3年目)

地区等	状況	支援内容
上京区 出水区	防災まちづくり 計画策定済	令和5年度は、街区計画において保全が望ましい路地と定めた路地等の中で、最も事業実現性が高い路地について「路地整備計画」の作成を行った。また、路地整備計画が実現するよう、地域における防災まちづくり活動に対して専門的・技術的支援を行った。 (防災まちづくりの取組8年目)

## (2) 京町家再生支援

### ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者の多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

#### (7) 一般相談 507件（令和4年度実績 358件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて各種公的制度、専門相談および団体紹介を行った。

#### (イ) 専門相談 49件 ※自主事業7件、受託事業42件（令和4年度実績 31件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家相談員制度等の運用業務」として実施している。令和5年度に委託事業として実施した専門相談の件数は42件であり、自主事業とあわせ49件となる。

#### 【相談項目内訳】

令和6年3月31日時点

相談項目	件数
改修・修繕	144
活用	115
賃貸	49
売買	36
耐震、防火	10
相隣問題	26
相続、所有権関係	13
維持・管理	17
資金、公的な支援制度	52
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	165
京町家まちづくりファンド	49
京町家カルテ	44
京町家等継承ネット	63
合計	783

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

(参考) 京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

※令和5年度は10月と3月に「京町家・空き家なんでも相談会」を開催した。

#### (ウ) 京町家相談員

平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家相談員制度等の運用業務」として実施し、「京都市京町家相談員」と制度を新たにした。

令和5年度は、登録更新研修として、「特別講演 京町家を未来へ 路地の可能性を考える」をひと・まち交流館 京都 大会議室にて開催した。

#### 【登録更新研修開催概要】「特別講演 京町家を未来へ 路地の可能性を考える」

開催日	内容	講師（敬称略）	出席者
R5. 11. 24	第一部 基調講演 路地と防災	大窪 健之（立命館大学理工学部環境 都市工学科 教授）	京町家相談 56名 一般参加者 44名
	第二部 路地再生に関する制度説明 ①路地再生（接道許可等）	小西 拓朗（京都市都市計画局建築指 導部建築指導課道路第一係長）	
	②連担建築物設計制度を活用した 京町家保全・路地再生について	奥山 陽二（京都市都市計画局建築指 導部建築指導課企画基準係長）	計 100名

※なお、当日欠席の京町家相談員は後日にオンラインにて全員が視聴した。

京都市京町家相談員登録者数 91名（令和5年4月1日時点）

85名（令和6年4月1日時点）

### イ 京町家データベース

平成20～21年度京町家まちづくり調査によって調査した約48,000件の京町家等を元にIDを付与した京町家をエクセルファイルにて管理し、あわせてGIS（地理情報システム）を用いて、地図上にて地理的な情報として管理・出力している。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に関する情報を一元的に管理する京町家データベースを運営している。

### ウ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成26年11月21日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学名誉教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の保全・継承に取り組んでいる。

令和5年度は、コロナ禍で休止していた京町家・空き家なんでも相談会を再開した。また、支援専門家の育成を目的とした見学会等の事業を実施するとともに、大型町家の保全・継承に向けて、個別の相談対応及び支援システムの開発を実施した。さらに、令和3・4年度に国土交通省補助事業により充実したポータルサイトMATCH YAを活用し、京町家等の担い手となる入居者・事業者の掘り起こし、京町家所有者の利活用意向の醸成を図った。

#### (7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
R5. 4. 11	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	5

開催日	内 容	出席者
R5. 6. 1	京町家等継承ネット 京町家構造補強工事現場見学会 ・以前相談対応をおこなった建物の工事現場見学	93
R5. 6. 17	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	3
R5. 6. 19	京町家等継承ネット 第10回全体会議（オンライン開催） ・前年度事業報告及び決算、今年度事業計画等の承認	35
R5. 7. 14	京町家等継承ネット コア会議 ・大型町家相談案件の情報共有等	11
R5. 8. 8	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	5
R5. 9. 6	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	3
R5. 9. 25	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	5
R5. 9. 28	京町家等継承ネット コア会議 ・寄付受納についての意見交換等	9
R5. 12. 11	国登録有形文化財 仲邸見学会 ・以前相談対応をおこなった建物の内部見学	29
R6. 2. 28	京町家等継承ネット 相談 ・個別の相談案件に関する相談対応	3

#### (4) 普及・啓発の取組

##### ① 京町家・空き家なんでも相談会の開催

開催日	会場	京町家相談員数	相談件数	
			専門相談	一般相談
R5. 10. 13	元京都市立成徳中学校 (京都市立下京中学校成徳学舎)	16名	専門相談	11件
R5. 10. 14			一般相談	7件
R6. 3. 1	京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム1・2	10名	専門相談	9件
R6. 3. 2			一般相談	11件
R6. 3. 2		12名	専門相談	14件
			一般相談	14件

##### ② 未来と町家をマッチする トークセッション 2024

トークセッションの様子を撮影及び編集を行い、ポータルサイト MATCH YA 及び Youtube にて動画配信を行った。(撮影日 令和6年2月26日)

テーマ	クリエイティブ拠点をつくる
登壇者（敬称略）	阿久津 泰紀（株式会社ブイ・クルーズ代表取締役） 宿野 秀晴（Medico-tec 株式会社代表取締役） 西山 涼二（かもベース主宰者、一級建築士事務所さんかくデザインラボ主宰者）
司 会（敬称略）	乾 明紀（京都橘大学 経済学部教授）
撮影会場	かもがわクリエイティブベース（下京区）

#### (ウ) 教育研修

京町家等継承の専門的相談の習熟を図るため、会員や専門家向けの見学会を実施した。

##### ① 京町家構造補強工事現場見学会

開催日	講師（敬称略）	会場	参加者
R5. 6. 1	辻 勇治（株式会社辻工務店）	堀川下立売の京町家 2 軒（上京区）	93

##### ② 国登録有形文化財 仲家住宅見学会

開催日	講師（敬称略）	会場	参加者
R5. 12. 11	大場 修（立命館大学 衣笠総合研究機構 教授） 石川 祐一（京都市文化市民局文化財保護課 文化財保護技師）	仲家住宅（中京区）	29

#### (イ) 支援システムの開発に係る取組

##### ① 大型町家継承モデルプロジェクト

（継承ネットにて相談対応を行った京町家相談案件 44件）

京町家なんでも相談等で受けた相談案件の大型町家について、京町家等継承ネットにて継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。

##### ② 歴史的建築物の保全・継承に向けた公民連携による方策の意見交換会

京町家をはじめとした歴史的建築物の保全及び継承の一層の促進を目的として、公民連携による今後の方策について意見交換の場を設けた。京町家の市場流通状況と首都圏の活用希望事業者の意向などをもとに、実務的な解決策を検討している。

##### 【意見交換会】

開催日：令和5年7月14日

議題：大型町家継承モデルプロジェクトの案件について

内容：賃貸募集を始める案件の活用方法について意見を伺うとともに、他の案件についての情報共有をおこなった。

参加者

所 属		氏名 (敬称略)
(株)クリップ	代表取締役社長	島田 昭彦
(一社)京都府不動産コンサルティング協会	副理事長	山下 善彦
(一社)京都府不動産コンサルティング協会	副理事長	西村 孝平
京町家居住支援者会議	事務局長	吉田 光一
京都信用金庫	個人ローン推進部 個人ローンセンター所長	山本 哲也
京都信用金庫	西陣支店営業課長	小窪 祐洋
京都中央信用金庫	地域創生部次長	川嶋 清隆
京都中央信用金庫	地域創生部課長代理	真田 聡

開催日：令和5年9月28日

議 題：京町家等の寄附受納について

内 容：大型町家等の寄附、遺贈による継承の課題、可能性について、関連事例と併せて法律、税制、活用方法等の検討を行った。

参加者

所属		氏名 (敬称略)
京都弁護士会公害対策・環境保全委員会	副委員長	玉村 匡
(公社)京都府不動産鑑定士協会	会長	辻本 尚子
京都美術工芸大学	副学長、教授	高田 光雄
都市居住推進研究会	運営委員	西村 孝平
京町家居住支援者会議	事務局長	吉田 光一
(一社)京都府不動産コンサルティング協会	副理事長	山下 善彦

③ 改修・活用事例の収集・紹介

京町家の多様な活用事例を MATCH YA の STORIES にて紹介している。令和5年度はレンタルスペース兼シェアハウスとクラフトビール工房兼社会福祉施設の記事2件を追加し、令和6年3月31日現在16件を掲載している。16件のうち4件については、京都市の海外向けWEBコンテンツに英文で転載され、海外にも発信されている。

④ 相談体制の強化

随時、MATCH YA 登録事業者と連携して、活用希望者への不動産情報の提供や内覧に至るまでのサポートを行った。また、令和5年12月15日、京都市主催の首都圏の企業が参加した「Kyo-Working ツアー」にて、継承ネットやMATCH YA で行っている活用希望者への支援について情報提供を行った。

### 3 各種団体等との交流及び協働活動

#### ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

令和5年度は、WMF関係者が来日され、各プロジェクトの視察及び協議を行った。

開催日	内容
R5.4.4	WMF アジアプロジェクト担当のハンシー・チャオ氏による視察
R5.7.22, 23	WMF ジョナサン・ベル副理事長他による視察

(参考)

京町家再生プロジェクト 第1期 釜座町町家（平成23年度）  
第2期 旧村西家住宅（平成24年度）  
第3期 四条町大船鉾会所（平成28～令和元年度）

<近年の実績>

H30.9 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞

R1.9 2019年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞

### 4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

#### (1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

#### ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

令和5年10月16日 第50回京町家まちづくりファンド委員会開催

令和6年3月31日 第51回京町家まちづくりファンド委員会開催

<令和5年度 京町家まちづくりファンド改修助成事業の選定について>

令和5年度は、1件の応募があったが選考基準に合致せず選定に至らなかった。

#### イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

##### (7) 京町家まちづくりファンドWEBサイト及びSNSを活用した発信

京町家の改修や通り景観の修景の改修助成事業の進捗状況や、各プロジェクトに関連するニュース等について、WEBサイト、Facebookグループページ及びInstagram (@kyoto\_machiya\_fund) にて発信した。

#### (イ) 京町家まちづくりファンドチャリティーイベントの開催

京町家まちづくりファンド改修助成事業（令和2年度選定）で支援した山野邸、八田邸にて、実際に活用されている所有者のお話と建物見学、文化体験等を開催し、京町家まちづくりファンドの意義やご寄附の呼びかけを行った。なお、令和4年、5年に京町家まちづくりファンドへ合計1万円以上を寄附された方々をご招待とした。

##### 【チャリティーイベント概要】

※敬称略

第1回	竹屋町編（山野邸 満き）	
開催日	R6. 2. 25	
イベント名	お灸の会	ファンドカフェ
内 容	・ 講演「お灸と四季について」 （講師 若林 美里（鍼灸師）） ・ お灸のミニ体験 ・ 建物見学（ドリンク付き） （講師 山野 暢子）	・ 建物見学（ドリンク付き） （講師 山野 暢子）
参加者	7名	10名

第2回	五条坂編（八田邸 蘇谷）	
開催日	R6. 3. 14	
イベント名	お話し会	ファンドカフェ
内 容	・ 講演「五条坂と京焼について」 （講師 河崎 尚志（陶点晴かわさき 店主）） ・ 建物見学（ドリンク付き） （講師 八田 宗子）	・ 建物見学（ドリンク付き） （講師 八田 宗子）
参加者	13名	5名

#### (ウ) 「町家の日」への参画

当財団の後援事業である「町家の日」の参加イベントとして、チャリティーイベント（※前掲）と、京町家まちづくりファンド助成案件の山野邸を会場とした京町家再生セミナー「京町家で生け花を-京町家のくらしの文化体験-」において、京町家の保全・継承への理解を深めるため、所有者から京町家の継承への想いを伝えていただくと共に、ファンドの普及啓発を行った。併せて、「町家の日」のホームページにおいて、各ファンド助成案件が主催・会場となっているイベント（8件）については、ファンド助成案件であることを記載し、一般へのファンド周知に努めた。

#### (イ) 連携協定関連

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結している。令和5年度は、令和4度に引き続き、京町家の保全・継承に係る改修助成に対し、50万円のご寄附をいただいた。

##### 【寄附受納式】

開催日	出席者	会場
R5. 12. 11	齋藤日新電機グループ社会貢献基金理事長、阪尻日新電機グループ社会貢献基金事務局長、門川前京都市長、砂川前京都市文化芸術政策監、竹内京都市都市計画局長、高田当財団理事長	京都市役所 第一応接室（本庁舎3階）

#### (オ) 受賞等

令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業選定の郭巨山会所について、令和5年4月、2023年日本建築学会賞(作品)を受賞した。

受賞者は、設計者の魚谷繁礼氏、魚谷みわ子氏、柳室純氏(構造設計)。

#### (2) 京町家カルテ・京町家プロフィール・京建物カルテの作成

京町家の価値への理解を深め、保全・継承に繋げるため、京町家の歴史や文化的な価値をまとめた「京町家カルテ」、内容はカルテより簡易であるが、発行までの所要時間が短く低料金である「京町家プロフィール」を発行した。令和元年度からは、京町家以外の近代和風建築などに対して「京建物カルテ」を発行した。

項目	令和5年度発行件数	令和4年度発行件数
京町家カルテ	3件	3件
京町家プロフィール	114件	94件
京建物カルテ	1件	11件

#### (3) 京町家に関する普及啓発業務(京町家カルテ簡易版の作成)(京都市受託事業)

所有者の京町家保全・継承に努める意識を醸成するため、京町家条例における個別指定京町家を対象として、京町家カルテの簡易版(個別指定京町家レポート)を作成した。

項目	令和5年度発行件数	令和4年度発行件数
京町家カルテ簡易版	5件	4件

#### (4) 建造物指定に係る調査資料作成業務(京都市受託事業)

京町家条例における個別指定京町家のうち、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物等の指定候補となる京町家について、審議会に提出する諮問資料作成のための調査資料を作成した。

項目	作成件数
景観重要建造物候補	2
歴史的風致形成建造物候補	5
景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物候補	0
合計	7

## 5 公共人材育成に関する教育及び研修

### (1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを例年実施している。

令和5年度は京都女子大学から2名を受け入れた。

### (2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。自主財源増加の取組として、賛助会員への加入を条件としている。

受入日	団体名	人数	内容
R5. 4. 19	韓国濟州島西帰浦市中央	16	京都のまちづくり
R5. 4. 20	静岡県浜松市立蜷塚中学校	4	歴史を大切にしたまちづくり
R5. 5. 18	新潟県新潟市立横越中学校	6	交流館内の説明
R5. 5. 24	神奈川県横須賀市立公郷中学校	9	京都の良さを考える
R5. 5. 31	韓国大邱市 日刊新聞嶺南日報・大邱慶北学会	20	都市再生戦略の説明
R5. 6. 4	埼玉県上尾市上尾中学校	20	施設の案内
R5. 6. 14	韓国扶余区役所	6	まちづくり
R5. 6. 15	岐阜大学教育学部附属小中学校	6	地域まちづくりの取組
R5. 6. 21	韓国釜山広域市	29	景観保全
R5. 8. 4	北京外国語大学日本語学院・日本学研究センター	12	町家の改造・修繕
R5. 9. 6	韓国釜山広域市甘川文化財団	23	まちセン事業説明
R5. 10. 13	立命館 JICA	11	京町家の保全
R5. 10. 18	新潟県妙高市立妙高高原中学校	31	京町家の現状と再生
R5. 10. 22	大正大学地域創生学部	2	スマートシティの調査
R5. 10. 31	韓国京畿道華城市役所	8	地域づくり
R5. 11. 1	韓国ソウル特別市江東区庁	7	景観保全
R5. 11. 7	京都府立朱雀高等学校	30	まちづくりと防災
R5. 11. 14	宮崎県綾町立綾中学校	12	まちづくり
R5. 11. 15	神奈川学園高等学校	48	京町家の現状と継承
R5. 11. 15	韓国扶余区役所	12	まちづくり

受入日	団体名	人数	内容
R5. 12. 6	熊本県熊本市立出水中学校	3	京都のまちづくり
R6. 1. 29	アジアにおけるエンパワメントプログラムの共同開発に参加の研究者一同	12	京町家の保全 防災まちづくり
R6. 1. 30	焼津商工会議所 建設業部会	12	京町家の保全、再生
R6. 2. 3	埼玉県吉川市商工会 青年部	10	景観づくり
R6. 2. 1	大韓民国済州島口座村旅行会社協同組合	8	京町家の保全
R6. 2. 14	岐阜県空き家管理業協会	7	まちセン事業説明
R6. 2. 19	SUWON 大学	23	まちセン事業紹介
R6. 2. 21	韓国慶尚南道昌寧郡議会	19	景観保全
R6. 2. 29	ペルー高校生と京都精華大学	9	まちセン事業紹介
合計	29 団体 (内 海外 14 団体)	415 人	

### (3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介及び京都のまちづくりの歴史、地域の取組事例の紹介等を行った。

派遣日	派遣先	人数	内容
R5. 5. 25	京都国際観光活性化協会	70	観光と景観のナルホドな関係
R5. 11. 21	京都女子大学	141	連携活動入門「まちづくりの担い手としての市民 京都のまちづくり」
	合計	211	

## 6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンド助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進するとともに、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

#### 【公的指定等に向けて継続的な支援を行っている物件数】

14 件

（景観重要建造物指定 2 件、歴史的風致形成建造物指定 5 件

景観重要建造物指定見込み 2 件、歴史的風致形成建造物指定見込み 5 件）

## 7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

令和3年度から令和6年度までのセンターの指定管理者として選定された。センター来館者の増加、施設価値の向上を目的として以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 47,168人（令和4年度末 44,074人）
- ・展示施設利用者数 30,539人（令和4年度末 30,393人）

### (1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。ボランティアガイド名により概ね週3回はボランティアが配置できる体制を整備した。これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 30,539人（令和4年度末実績 30,393人）  
＜利用者拡大に向けた取組＞
- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加
- ・第27回京都ミュージアムロードに参加

### (2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

#### ・所蔵資料数

内 訳	令和5年度末実績	令和4年度末実績
一般書籍	14,667点	14,635点
郷土資料	1,260点	1,160点
行政資料	1,024点	1,017点
視聴覚資料	303点	302点
雑誌	436点	439点
地図、絵本等	584点	579点
合計	18,274点	18,132点

#### ・利用状況

内 訳	令和5年度末実績	令和4年度末実績
利用者数	14,594人	13,193人
利用者カード新規発行数	136枚	111枚
利用者カード延べ発行数	4,234枚	4,203枚
図書等貸出数	2,588点	2,116点

## ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授、都市住宅学会初代会長、元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下、巽氏が所蔵されていた資料2,105冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

## イ 利用者拡大に向けた取組について

- ① 毎月4センターが交代で企画した「企画展示」を行っており、2週間ごとに季節や時事的話題に沿った題材で「ピックアップ」展示を行っている。
- ② ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を行っている。令和5年度は新型コロナウイルス下の行動制限が緩和され、フィールドワークを再開した。

開催日	テーマ	出席者
R5. 4. 22	「洛中洛外図の基礎講座」	25
R5. 5. 20	「洛中洛外図の下京を歩く」※フィールドワーク	30
R5. 6. 17	「洛中洛外図の基礎講座」	28
R5. 7. 16	「祇園会の神輿渡御」	27
R5. 8. 19	「洛中洛外図の基礎講座」	25
R5. 9. 16	「洛中洛外図の基礎講座」	28
R5. 10. 21	「洛中洛外図の東山を歩く」※フィールドワーク	30
R5. 11. 18	「洛中洛外図の基礎講座」	28
R5. 12. 16	「洛中洛外図の基礎講座」	25
R6. 1. 27	「中世京都の芸能民」	30
R6. 2. 17	「洛中洛外図の基礎講座」	27
R6. 3. 16	「洛中洛外図の基礎講座」	27

## (3) まちづくり交流サロン

まちづくり交流サロンにおいて、京町家の構造などが分かる模型のほか、ミニチュアハウスと紙彩画の展示「着物づくりと京町家」を常設展示している。

また、様々な分野の人とつながり新たな交流の輪を広げるカフェ「The Base Mental Café」を令和4年10月から毎月1回開催した。

#### (4) まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しをしている。

<稼働回数> 114回（令和4年度末実績 71回）

#### (5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする主催、共催事業等での活用のほか、登録団体への貸し出しを行っている。

<稼働回数>

ワークショップルーム1 199回（令和4年度末実績 201回）

ワークショップルーム2 259回（令和4年度末実績 275回）

## 公2 京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

### 京町家まちづくりファンド改修助成事業

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復、通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

令和5年度交付実績： 令和4年度選定分 合計 2件  
(白百合会の拠点、旧キンセ酒店と旧39番路地)

以下、改修助成事業の状況を記す。

#### 【令和4年度選定】

##### ●白百合会の拠点（京町家の改修）

所在地：京都市中京区下八文字町

事業状況：R5.12 竣工、R6.1 完了検査、R6.2 助成金交付（助成金4,867,000円）

改修内容：屋根の改修、外壁の改修、建具の改修

活用内容：

- ・中学生の学習支援や子ども食堂を実践する場として活用予定。また、昼間は地域の方々に利用していただけるコミュニティカフェを設け、地域の方々にも子どもたちを見守っていただける環境づくりを目指している。
- ・近隣の中学校とも相談し、令和6年夏頃からの中学生の受け入れを準備中。

#### 改修前



東側外観



北側外観

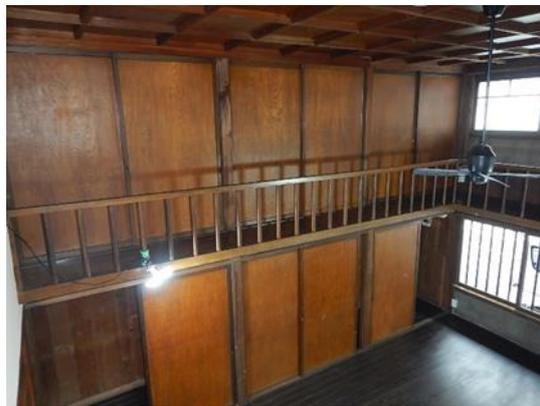
改修後



東側外観



北側外観



吹き抜けのあるミセの間



和室

### ●旧キンセ酒店と旧39番路地（通り景観の修景）

所在地：京都市中京区木屋町通四条上る二丁目下樵木町

事業状況：R6.3 竣工、完了検査、助成金交付（助成金 10,000,000 円）

改修内容：大屋根・外壁の改修、建具の改修

活用内容：

- ・旧キンセ酒店の活用支援を京町家等継承ネットで実施し、令和6年3月20日に外資系香水ブランドの店舗が開店した。
- ・旧39番路地は道路側と路地側の外観工事が完成。今後、内部工事が完了した段階でテナントを募集予定。

改修前



旧キンセ酒店外観



旧39番路地の入口外観



外観全景（左：旧キンセ酒店、中央：住居、右：旧39番路地の京町家と路地入口）



旧39番路地

改修後



旧キンセ酒店の外観



旧39番路地の京町家・入口外観



外観全景



旧39番路地

## 収益事業

### 歴史的建造物利活用事業

京町家の利活用の更なる展開と町並み景観の維持向上を目指し、重要伝統的建造物群保存地区（祇園新橋地区）内の歴史的建造物を所有者である京都市から当財団が貸借し、民間の活力ある事業者に貸し付けるサブリース事業に取り組んだ。

- ・ 令和4年10月 京都市とのマスターリース契約締結
- ・ 令和4年11月 利活用事業者の公募開始
- ・ 令和5年3月 利活用事業者選定委員会開催
- ・ 令和5年6月 株式会社ケリングジャパン イヴ・サンローラン ディビジョンとサブリース予約契約締結、8月本契約締結（公正証書）
- ・ 令和7年春 グランドオープン予定

## 法人運営

### 1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

#### 【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第45回	R5. 6. 8	令和4年度事業報告及び決算について 評議員選定委員の選任について 顧問の推薦及び再任について 第23回評議員会の開催について
第46回 (書面理事会)	R5. 6. 26	理事長、専務理事及び相談役の選任
第47回	R6. 3. 12	令和6年度事業計画及び収支予算について 令和6年度資金運用計画について 特定費用準備資金「財団設立30周年記念事業」の保有について 第24回評議員会の開催について

#### 【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第23回	R5. 6. 26	理事及び監事の選任について 令和4年度事業報告及び決算について
第24回	R6. 3. 26	令和6年度事業計画及び収支予算について 令和6年度資金運用計画について 特定費用準備資金「財団設立30周年記念事業」の保有について

### 【評議員選定委員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第7回	R5.6.15	評議員の選定について

## 2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行っている。団体会員については、新型コロナ感染拡大を考慮し、会員拡大のための企業訪問等は見合わせている。

平成28年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり、新規会員の拡大に努めている。

<入会状況> 令和5年度末（令和4年度末）

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	115人（162人）	735,000円（980,000円）
団体会員	21団体（18団体）	1,050,000円（900,000円）
	合計	1,785,000円（1,880,000円）

【参考】年間会費 個人（1口）5,000円、団体（1口）50,000円

## 3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、研修に参加している。

開催日	研修名	講師
R5.4.3～10	新任職員研修	当財団職員
R5.1.14～7.22	第13期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）	京都市文化財マネージャー育成実行委員会
R5.4.12	会社とお金の常識コース	京都商工会議所

まちづくりコーディネーター向けに、業務関連資格の取得奨励制度を設けている。

## 4 その他

環境改善の取組として、KES（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量4.3%減（2021年度目標対比）
省資源化	事務用紙使用量削減25.3%削減（2021年度目標対比）
啓発活動	建物周辺の清掃（毎月1回平均9.8人の参加）
省エネルギー化	京町家カルテ・プロフィール及び京建物カルテ作成118件